

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石 久和

印省略

## 平成28年度 実地研修会（ハッ場ダム・品木ダム）開催について

～多目的ダムの建設事業（骨材の製造からダムコンクリートの打設まで）と酸性河川中和事業～

本会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本会では、平成28年9月8日（木）～9日（金）に標記実地研修会を開催いたします。

今回視察するハッ場ダムは、多目的ダムの建設を原石山からダムコンクリートの製造過程、そしてダム堤体のコンクリート打設までの流れを視察するとともに、品木ダムは酸性河川の中和事業を視察することにより、ダム建設の技術等について学ぶことを目的としています。

なお、本実地研修会は国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①日 程：別紙日程表のとおり

※天候により視察箇所に変更が生じる場合があります。

②募 集 人 数：46名

注）現場条件により人数制限があります。

③研 修 料：一般（非会員）…………… 16,000円（税込み）

正会員・特別会員・賛助会員…………… 13,000円（ 〃 ）

※正会員（若手（30歳未満））割引はありません。

※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※研修料は、1～2日目の費用です。斡旋宿舎の宿泊料は含みません。

現場研修時の昼食代（1,200円）を含みます。

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、できるだけ所属協会事務局を通じ期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

募集人数以内の申込みの場合、参加できる旨ご通知します。

募集人数を超える申込みの場合、本会にて選考し（地域性を考慮しつつ若手の方を優先）その結果をご通知します。

通知は、8月15日～19日頃を予定しています。

研修料の振込みは、本会からの通知の後をお願いします。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥申 込 締 切 日：平成28年8月5日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※参加者が決定した後の取り消し（返金等）については、原則行いません。

※研修料の領収書及び視察資料は当日集合場所にて、参加証は視察終了後にお渡しいたします。

※参加者には、本部で国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

・本講習会は、本会実施の「全建CPD（継続教育）制度」の認定講習会として【聴講：2単位、現場研修：4単位】が取得できます。

・講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

## 平成28年度 実地研修会 日程

### 八ッ場ダム・品木ダム



～多目的ダムの建設事業（骨材の製造からダムコンクリートの打設まで）と酸性河川中和事業～

八ッ場ダムは、利根川水系の上流ダム群とあいまって下流の洪水被害を軽減し、また水資源の有効利用と首都圏の都市用水の開発など、治水及び利水上きわめて重要な目的を持つ多目的ダムです。

品木ダムは、日本で初めて中和事業を実施した施設で、酸性河川に石灰乳液を投入し、河川の中和を図っています。また中和する際に発生する生成物を沈殿させるための施設として、品木ダムが建設されました。この中和事業により、死の川といわれていた吾妻川に生き物が生息できるまでになりました。

今回の実地研修会は、多目的ダムの建設を原石山からダムコンクリートの製造過程、そしてダム堤体のコンクリート打設までの流れと酸性河川の中和事業を視察することにより、ダム建設の技術等について学びます。

会場 …………… 前橋さくらホテル 2F「紫雲」  
〒371-0023 群馬県前橋市本町2-16-1 TEL:027-220-1818

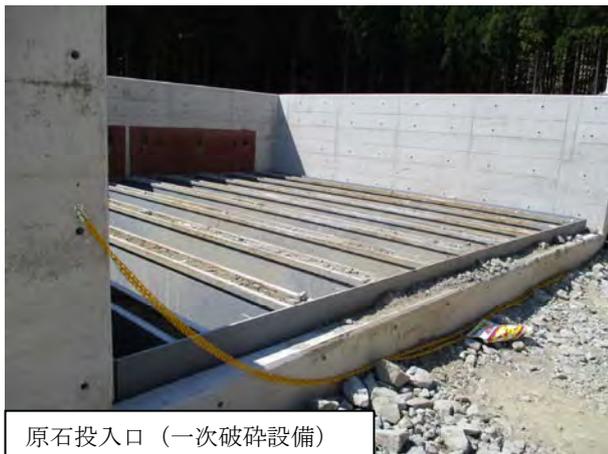
(1日目)	開場14:30～	平成28年9月8日(木)【聴講】	(敬称略)
15:30	} 八ッ場ダムの建設について	国土交通省関東地方整備局 八ッ場ダム工事事務所 副所長	由井修二
16:30			
16:40	} 品木ダムの酸性河川中和事業について	国土交通省関東地方整備局 品木ダム水質管理所 所長	萩原弘
17:40			
18:00	} 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 前橋さくらホテル	<希望者のみ 会費2,000円> 2F「青雲」(予定)	
19:30			
(2日目)	集合 7:20～	9月9日(金)【現場研修】	
前橋さくらホテル前(7:30)出発			
【八ッ場ダム視察】			
不動大橋(湖面2号橋)(下車説明) … 「道の駅」八ッ場ふるさと館にて専用バスに乗車			
→ 原石山(下車説明) → 骨材プラント(下車説明、「メモリーストーン」作成)			
→ コンクリート製造設備・本体打設(コンクリート製造・運搬・打設設備(ダムサイト))(下車説明)			
→ 「道の駅」八ッ場ふるさと館(昼食)(吾妻郡長野原町)			
【品木ダム視察】			
→ 品木ダム水質管理所【中和事業概要説明…中和工場内視察…石灰乳液投入口等の視察】(下車説明)			
→ 品木ダム【中和生成物の沈殿池、沈殿した生成物の浚渫事業等】(下車説明)			
→ JR高崎駅(17:20)着後解散			
「メモリーストーン」とは			
ダム堤体のコンクリートの材料となる骨材に見学者等が記念の寄せ書きをしたものを、ダム堤体に埋め込み、堤体の一部とする。			
※天候により上記視察箇所に変更が生じる場合があります。			
※時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。			



### 〔骨材プラント〕

骨材プラントは、原石山から切り出した原石を、ダム本体のコンクリートの材料として適した石（骨材）にするための設備です。この設備では、原石を砕き、洗浄し、所定の大きさにふるい分けて貯蔵します。ここで製造された骨材は、ダム本体まで運搬され、セメントや水と共に練り混ぜられてコンクリートの一部となります。

この骨材は、骨材プラントからダムサイトまでの約10kmをベルトコンベアで運搬されます。



原石投入口（一次破碎設備）



骨材プラント施設全景

### 〔バッチャープラント・ケーブルクレーン〕

ベルトコンベアで運搬された骨材は、ハッ場大橋の下に位置する第1調整ビン及びダムサイト左岸天端にある第2調整ビンに備蓄されます。そこから必要な量がバッチャープラントへ運搬され、コンクリートが製造されます。製造されたコンクリートは、18tケーブルクレーン及びSP-TOMによって打設箇所近傍へ運搬され打設されます。



第1調整ビン



18t ケーブルクレーン

### 〔本体打設〕

平成27年1月に本体掘削工事を始めました。平成28年6月現在で本体掘削のおよそ9割が完了し、同6月より、本体の一部コンクリート打設に着手しています。



本体掘削状況（H28.5）



本体掘削状況（H28.5）

### 品木ダム

品木ダム水質管理所の草津中和工場が建設される前の吾妻川は、河川水が極度の酸性を帯びていたため、通称「死の川」とも呼ばれていました。これは、吾妻川においては、草津白根山に起因する酸性河川（大沢川、谷沢川）、草津温泉の源泉から湧出した強酸性の水が湯川となって流れ込むため、その酸性度は鉄釘を1週間で溶解する程の強さでありました。このため、草津中和工場建設前までの吾妻川は利水に不適當な河川であり、橋梁を始めとする河川工作物にも多大な影響を及ぼしていました。もちろん、魚介類等の水棲生物は棲むことが出来ない上に、さらには吾妻川と合流した利根川の水質までも損ね、かんがいや水力発電への影響も深刻なものになっていました。



品木ダム全景

草津中和工場は、日本で初めて中和事業を実施した施設で、酸性河川に石粉を投入し、河川の中和を図っています。また中和する際に発生する中和生成物を沈殿させるための施設として、品木ダムが建設されました。この中和事業により、死の川といわれていた吾妻川に生き物が生息できるまでになりました。

#### 〔品木ダム水質管理所：中和工場〕

品木ダム水質管理所の中和工場は酸性の河川水と石灰石粉を混合し、河川に投入しています。

#### 〔品木ダム〕

中和する際に発生する生成物を沈殿させるための施設として、品木ダムが建設されました。中和生成物を除去するため浚渫が行われています。



酸性河川水と石灰石粉を中和工場混合し湯川に投入



品木ダム



ダムに沈殿した中和生成物の浚渫

## 宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には前橋市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

※現場視察の出発場所が斡旋ホテル前となっており、出発時間も早いため、参加者はなるべく斡旋宿舎をご利用下さい。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄  
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3~1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成28年9月8日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
前橋さくらホテル	前橋市本町2-16-1 TEL027-220-1818	シングル	46名	6,200円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

### 案内図





## 平成28年度 実地研修会（ハッ場ダム・品木ダム）に

### 参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



（一社）全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会研修会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成28年9月8日（木） 18:00～19:30（予定）

場所：前橋さくらホテル  
2F「青雲」

会費：2,000円  
（受付時に徴収）

- ※開催時間に変更が生じることもありますので、開催当日にご案内いたします。
- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
  - ①参加者の知見と人脈を広める（名刺交換）
  - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
  - ①講師との交流
  - ②質疑応答など

※都合により内容に変更が生じることもあります。



<問合せ>

（一社）全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com